

発掘だより

2005.10

第14号

礎石建物跡とは……？

発掘の現場では、よく耳にする言葉ですが、みなさんわかりますか？

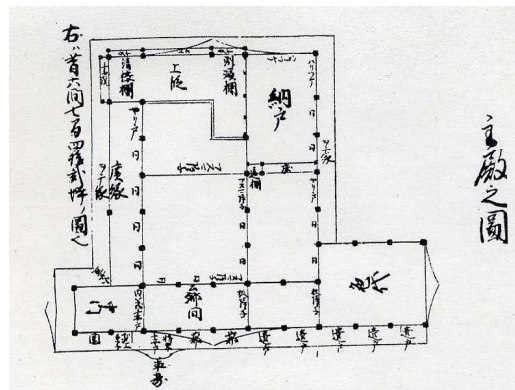


これは、会所跡の写真です。規則的に並ぶ石がわかりますか？
この石を礎石といい、この上に家の柱が建っていたと思われます。
これを礎石建物跡といいます。

この左下の図は平成13年度に発見された礎石建物跡の図面です。今回の庭園を見わたせる位置、池の北側約18Mの地点で発掘されました。この建物は主殿の可能性あります。



(↑主殿？)



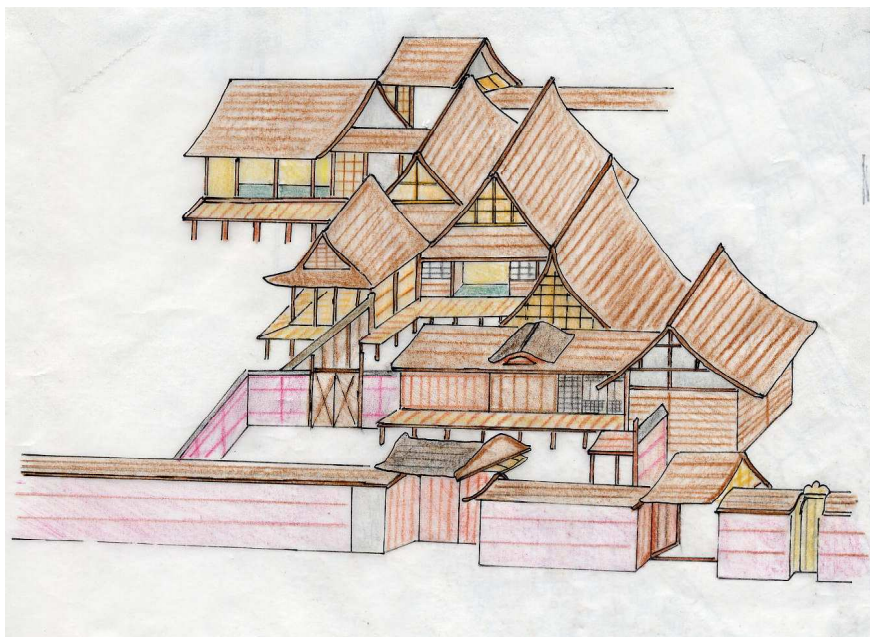
(↑昔六間七間主殿之図)「匠明」

……主殿って？…… どうしてわかるの？

????????????????????????????????????

17世紀初めに出来た「匠明」という書に主殿の基本的な図があります。(昔六間七間主殿)
この図面と、礎石建物跡の形がよく似ているんだよ！

絵にすると, こんな感じ・・・



* 一間＝六尺五寸二分で約197CM (一尺＝約33CM・一寸＝約3.3CM)

勝瑞城館では, 会所も見つかっています。

この時代の建物は, 主殿・常御殿・会所というふうに分けて建てられており, わたり廊下で行き来していました。

主 殿 . . . おもに儀式の場, 主と面会したり, 行事をする所
常 御 殿 . . . ここでおもに生活していた所
会 所 . . . 宴会場所, 客人とここでお酒を飲んでいた所



私たちの家は, 一戸の建物の中に応接間, 台所, 居間とありますが, 昔の権力者の家は大きかったんだね!

H.satomi

↓お問い合わせ

URL : <http://www15.ocn.ne.jp/~shouzui/>
E-mail: syugomachishouzui@air.ocn.ne.jp
TEL & FAX (0886) 641-3466